

# 生き物たちが元気な眉山キャンプ場

## 初春



### 野焼き

眉山(まゆやま)キャンプ場のたくさんの生き物たちを元気に復活させるために行われる野焼き。毎年2月中頃に菅牟田地区の人たちの手で行われます。



### チョウゲンボウ

タカの仲間です。野焼き直後には野ネズミの巣穴がまる見えになるので野ネズミを狙って来るようです。



### ノスリ

タカの仲間です。同じように野焼き直後の野ネズミやモグラなどを狙っているようです。

## 春



### ウラビ

野焼きからしばらくたつと、焼け跡の野原一面にウラビが顔を出します。



### スマレ

野の草が成長する前に、何種類かのスマレが顔を出します。チョウなどの幼虫のエサとなります。

## 初秋から秋へ



### 秋の七草

オミナエシ(女郎花)とハギの花。秋の七草を代表するものですが、キャンプ場周辺にはオトコエシ(男郎花)も咲きます。蜜を求めてチョウたちがやって来ます。



### アゲハチョウの仲間

初秋のキャンプ場では何種類かのアゲハチョウを見ることができます。写真はナミアゲハ、モンキアゲハ、カラスアゲハなど。

### タテハチョウの仲間

キタテハ、アカタテハ、ツマグロヒョウモン、メスグロヒョウモンなどが見られます。



### アサギマダラ

旅をするチョウとして有名になったアサギマダラも、キャンプ場裏手のヒヨドリバナの蜜を求めてやって来ます。

### リンドウ

自生するリンドウの花を見かける場所は若木でも少なくなりました。夏草刈りが行われる場所には残っているようです。

他にも、草原の中にはキリギリス、ウマオイ、クツムシなどたくさんの種類がいるようです。  
みんなで探してみよう!

## 初夏



### ニホンミツバチ

野生では数が少なくなったと心配されているニホンミツバチ。おとなしいミツバチです。キャンプ場バンガローの近くに生息しています。



### バッタ類

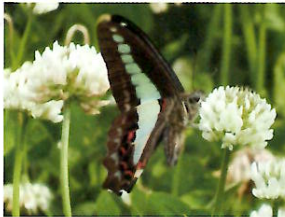
夏草が成長を始めると、たくさんの種類のバッタの仲間を見かけるようになります。



### 小型の蝶類

ベニシジミやツバメシジミなど小型のチョウチョたちも初夏には元気に飛び回っています。写真はツバメシジミ。

## 夏



### アオスジアゲハ

キャンプファイヤー広場のシロツメクサの花にたくさんやって来ます。



### ジャノメチョウ

バンガロー裏手のクヌギ林の下草に、群れて休む姿を見ることができます。

